

2019年度 環境経営レポート

対象期間：2019年8月～2020年7月
（発行日：2020年10月1日）



株式会社豊解体工業

Contents

1. 組織の概要、認証・登録の対象範囲……………p.1
2. 環境経営方針……………p.4
3. 実施体制……………p.5
4. 環境経営目標……………p.6
5. 環境経営計画……………p.7
6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果と
その評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境
経営計画……………p.8
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、
並びに違反、訴訟等の有無……………p.12
8. 代表者による全体の評価と見直し・指示……………p.13
9. 受託した産業廃棄物の処理量……………p.14

組織の概要

事業所名	株式会社 豊解体工業
所在地	【本社】 〒832-0051 福岡県柳川市佃町1312-6 TEL:0944-72-4593 FAX:0944-73-9204 E-mail : info@yutaka-group.net 【久留米営業所】 〒830-0072 福岡県久留米市安武町安武2257-1 TEL:0942-51-9366 FAX:0942-51-9388
代表者	代表取締役 山上 知子
創立	昭和43年10月
資本金	1,000万円
従業員数	25名
H P	https://www.yutaka-group.net/
組織概要	環境管理責任者: 山上知子 EA21事務局: 津田香織
事業概要	解体工事業、とび・土工工事業、土木工事業、 産業廃棄物中間処理業、産業廃棄物収集運搬業、 一般廃棄物収集運搬業
会計年度	8月1日～翌年7月31日
事業規模	売上高:341百万円(R1年度) 事業所総面積:724.14㎡ 産業廃棄物中間処理量 5,390.35 t (R1年度) 産業廃棄物収集運搬量 12,284.87 t (R1年度) 一般廃棄物収集運搬量 0 t (R1年度)
積替保管施設	有(面積:10.15㎡、保管上限:13.7㎡)
加盟団体	公益社団法人福岡県資源循環協会 一般社団法人建築士事務所協会 柳川・久留米商工会議所
対象範囲	全組織・全活動を認証・登録範囲とする

許可内容

許可一覧表

種別	自治体	許可番号	許可日	許可期限	積保	廃フワ	紙	木	繊維	ゴム	金属	ガラス 陶磁器	ガレキ	燃殻	汚泥	廃油	廃酸	廃7ル カ	鉛さい	ばい じん	廃石 綿	13号			
産業廃棄物 収集運搬業	福岡県	04010010313	H29.6.19	R6.6.18	有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
					積保 品目	○	○	○	○			○	○	(石綿含有産業廃棄物であるものを含む)											
	佐賀県	04103010313	H26.7.1	R3.6.30	無	○	○	○	○	○	○	○	○												
	熊本県	04305010313	H29.12.12	R6.12.11	無	○	○	○	○	○	○	○	○												
	大分県	04407010313	H28.2.14	R5.2.13	無	○	○	○	○	○	○	○	○												
	長崎県	04200010313	H30.10.27	R7.10.26	無	○	○	○	○	○	○	○													
特別管理 産業廃棄物 収集運搬業	福岡県	04050010313	H28.1.24	R5.1.23	無									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	佐賀県	04153010313	H30.10.28	R7.10.27	無									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	熊本県	04355010313	H30.3.7	R5.3.6	無																	○			
産業廃棄物 中間処理業	福岡県	04020010313	H27.3.30	R4.3.29		○	○	○	○	○	○	○	○												
							○																		
	久留米市	11220010313	R2.3.30	R9.3.29										○	○										
一般廃棄物収集運搬業	柳川市	第31-5号	H31.4.1	R3.3.31	無	可燃物(木くず・紙くず)・粗大ゴミ																			

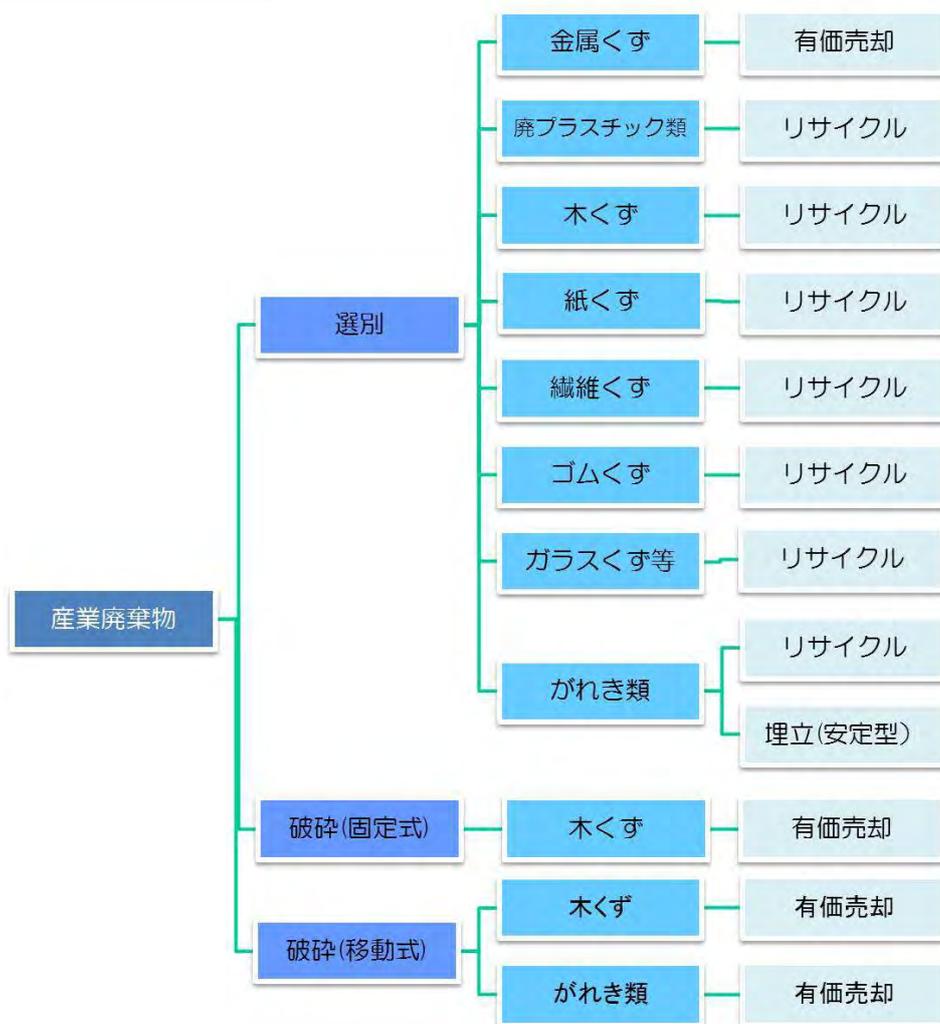
建設業	福岡県知事	般-1 第37216号	R2.1.16	R7.1.15	建設業の種類:解体工事業、土木工事業、とび・土工工事業																
-----	-------	----------------	---------	---------	-----------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

設置場所	選別	福岡県柳川市佃町字庄左衛門1314番1外1筆
	破碎 (移動式)	福岡県柳川市佃町字庄左衛門1314番1

運搬車両の種類と台数

車両名	台数	車両名	台数
2t ダンプ	2	2t コンテナ車	2
4t ダンプ	5	3t コンテナ車	1
6t ダンプ	1	4t コンテナ車	3
2t キャブ	1	8t コンテナ車	1
4t キャブ	1	10t コンテナ車	1
7t キャブ	1	運搬車	1
軽トラック	2		

産業廃棄物処理フロー図



環境経営方針

【環境理念】

株式会社豊解体工業は、解体工事業と産業廃棄物中間処理業のサービスを提供する企業として、取り巻く全ての人達や地球環境を守るために、法令に則り、環境保全に幅広く積極的に取り組むとともに、提供しているサービスが環境保全に大きく係わり合っているという認識を全員が持ち、一丸となって継続的に改善活動に取り組むことを推進します。

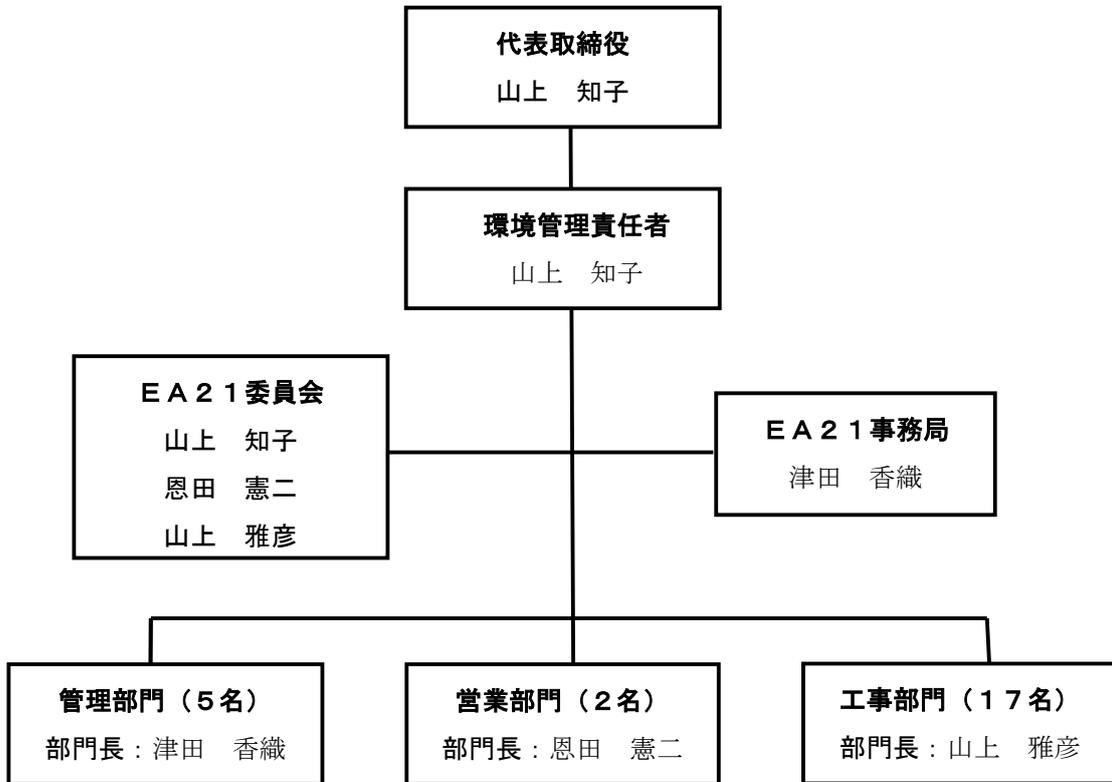
【行動指針】

1. 事業活動における環境への負荷を低減するために、以下の取り組みを行います
 - 1) 電力、燃料使用量の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - 2) 水使用量の削減
 - 3) 一般廃棄物排出量の削減
 - 4) グリーン購入の推進
 - 5) 受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境負荷の低減
2. 当社の事業活動において関連する環境関連法規等を遵守し、環境汚染の防止や環境保全の改善を積極的に推進します
3. 地域のボランティア活動を含めた環境保全活動の推進に寄与し、環境負荷の少ない地域社会創りに貢献します
4. 安全・環境パトロールの実施により、環境関連法規等の徹底した管理、また環境負荷に対する改善意識の維持向上に努めます
5. 環境活動の結果を、環境活動レポートとして取りまとめ公表します

2019年8月1日

株式会社豊解体工業
代表取締役 山上 知子

EA21実施体制



所 属	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ 環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する 環境管理責任者、EA21委員会委員、EA21事務局員を任命する 環境への取組を実施するための資源（人・もの・金）を準備する EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる 上記の結果を社長に報告する
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 3ヶ月に1回開催し、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実行状況を審議する
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類の作成・維持・管理を行う 社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する 自部門の環境経営目標、環境経営計画の達成と実績の把握を行う 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する 自部門に関連する法規制等を順守する 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する 自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

環境経営目標

環境経営目標		単位	基準値 (H.28年度実績)	H.29年度	H.30年度	R1年度	R2年度
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	1,194以下	1,182以下 (△1%)	1,182以下 (△1%)	1,182以下 (△1%)	1,182以下 (△1%)
	①電気使用量の削減	kg-CO ₂ /百万円	28.5以下	28.2以下 (△1%)	28.2以下 (△1%)	28.2以下 (△1%)	28.2以下 (△1%)
	②ガソリン使用量(営業車)の削減	kg-CO ₂ /百万円	130以下	128以下 (△1%)	128以下 (△1%)	128以下 (△1%)	128以下 (△1%)
	③ガソリン使用量(建設現場)の削減	kg-CO ₂ /百万円	11.2以下	11.0以下 (△1%)	11.0以下 (△1%)	11.0以下 (△1%)	11.0以下 (△1%)
	④軽油使用量(建設現場)の削減	kg-CO ₂ /百万円	1,021以下	1,010以下 (△1%)	1,010以下 (△1%)	1,010以下 (△1%)	1,010以下 (△1%)
2	一般廃棄物排出量の削減	kg /従業員数(人)	48.9以下	48.4以下 (△1%)	48.4以下 (△1%)	48.4下 (△1%)	48.4以下 (△1%)
3	水使用量の削減	m ³ /従業員数(人)	7.4以下	7.3以下 (△1%)	7.3以下 (△1%)	7.3以下 (△1%)	7.3以下 (△1%)
4	グリーン購入の推進	品目	4	6	6	6	6
5	受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境負荷の低減(エコカー導入)	台	1	1	1	1	1
6	安全・環境パトロールの強化	回	24	24	24	24	24
7	地域貢献活動の推進(清掃、環境イベント等参加)	回	5	6	6	6	6

備考： ・ () 内%は、H.28年度の実績をベースとしての削減率
 ・ “百万円” は全事業活動の売上高の単位
 ・ 二酸化炭素実排出係数：0.385kg-CO₂/kWh (九州電力、平成22年度)

環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	責任者	活動項目	実施部門	スケジュール												
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
1 電気使用量の1%削減	津田	1 エアコン設定温度を決め、実行する	管理部門	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	
		2 空調フィルターの定期清掃を実行する		○	○					○	○			○	○	
		3 不在時、休み時間の消灯実施		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		4 グリーンカーテンを作成する		○	○								○	○	○	○
2 ガソリン使用量(営業車)の1%削減	恩田	1 アイドリングストップを推進する	営業部門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		2 加減速(急発進、急ブレーキ)を控えた運転を推進する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		3 タイヤ空気圧の確認を行う		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 ガソリン使用量(建設現場)の1%削減	山上雅彦	1 エコドライブを推進する	工事部門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		2 加減速(急発進、急ブレーキ)を控えた運転を推進する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		3 タイヤ空気圧の確認を行う		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4 軽油使用量(建設現場)の1%削減	山上雅彦	1 エコドライブを推進する	工事部門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		2 加減速(急発進、急ブレーキ)を控えた運転を推進する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		3 タイヤ空気圧の確認を行う		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2. 一般廃棄物排出量の削減

取組目標	責任者	活動項目	実施部門	スケジュール												
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
1 3R活動の促進	津田	1 印刷機能(Nアップ・両面)、裏紙の使用を推進する	管理部門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 再利用不可能な紙類はシュレッダーに掛け、リサイクルする		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3. 水使用量の削減

取組目標	責任者	活動項目	実施部門	スケジュール												
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
1 節水活動	津田	1 前面道路清掃時に高圧洗浄機を使用する	管理部門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

4. グリーン購入の推進

取組目標	責任者	活動項目	実施部門	スケジュール												
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
1 エコ商品購入の促進	津田	1 グリーン商品(事務用品)購入を推進する	管理部門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 エコマーク商品購入を推進する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

5. 受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境負荷の低減

取組目標	責任者	活動項目	実施部門	スケジュール												
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
1 車両購入、選択にあたっての配慮	山上雅彦	1 環境配慮型車両(エコカー)を購入する	工事部門						○							

6. 安全・環境パトロールの強化

取組目標	責任者	活動項目	実施部門	スケジュール												
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
1 現場での環境保全活動の促進	恩田・山上	1 整理、整頓に努める	営業・工事部門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 クレーム処理(粉塵、騒音等)を徹底する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3 無事故(物損、車両等)を徹底する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

7. 地域貢献活動の推進

取組目標	責任者	活動項目	実施部門	スケジュール											
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
1 環境保全活動の促進	津田	1 会社前面道路の清掃活動に取り組む	管理部門					○						○	
		2 地域、所属団体等の環境活動に積極的に取り組む		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

環境経営目標及び環境経営計画の 実績・取組結果とその評価、並びに 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

1.1 環境目標の達成状況と評価

目 標		目標の目安(指標)	R1年8月～R2年7月	達成状況	評価
環境目標	二酸化炭素排出量1%削減	(1182kg-CO2/百万円)以下	923.16	○	現場ガソリン以外、一年を通して目標達成することができたが、前年度に比べて売上が下がっているのに、使用量の年平均が上がってしまっている。次年度は削減できるように取り組みたい。
取組目標	電気使用量1%削減	(28.2kg-CO2/百万円)以下	14.62	○	
	ガソリン使用量(営業車)1%削減	(128kg-CO2/百万円)以下	99.11	○	
	ガソリン使用量(建設現場)1%削減	(11.0kg-CO2/百万円)以下	11.98	×	
	軽油使用量(建設現場)1%削減	(1010kg-CO2/百万円)以下	797.45	○	

達成状況の判定 ○:達成できている ×:達成できていない

※購入電力の排出係数:0.385(kg-CO2/kWh)

1.2 環境活動計画の実施状況と評価

目標	活動項目	責任者	取組結果	評価	次年度取組
電気 使用量削減	エアコンの設定温度(28℃)を決め、実行する	津田	○	・計画通りに進んでいる	・重機の定期的な点検、整備を実施する。 ・効率的作業の向上に努める。引き続き実施する
	空調フィルターの定期清掃を実行する		○		
	不在時、休み時間の消灯実施		○		
	グリーンカーテンを作成する		○		
ガソリン(営業) 使用量削減	エコドライブを推進する	恩田	○		
	加減速(急発進、急ブレーキ)を控えた運転を推進する		○		
	タイヤ空気圧の確認を行う		○		
ガソリン・軽油 (現場) 使用量削減	エコドライブを推進する	山上 雅彦	○		
	加減速(急発進、急ブレーキ)を控えた運転を推進する		○		
	タイヤ空気圧の確認を行う		○		

実施状況の判定 ○:実行されている ×:実行されていない

2. 一般廃棄物排出量の削減

2.1 環境目標の達成状況と評価

目 標		目標の目安(指標)	R1年8月～R2年7月	達成状況	評価
環境目標	一般廃棄物排出量1%削減 (可燃ごみ)	48.36kg/人以下	10.24kg/人	○	・計画通りに進んでいる

達成状況の判定 ○:達成できている ×:達成できていない

2.2 環境活動計画の実施状況と評価

目標	活動項目	責任者	取組結果	評価	次年度取組
3R活動の促進	印刷機能(Nアップ・両面)、裏紙の使用を推進する	津田	○	・計画通りに進んでいる	・引き続き実施する
	再利用不可能な紙類はシュレッターに掛け、リサイクルする		○		

実施状況の判定 ○:実行されている ×:実行されていない

3. 水使用量の削減

3.1 環境目標の達成状況と評価

目 標		目標の目安(指標)	R1年8月～R2年7月	達成状況	評価
環境目標	水排出量1%削減	7.2m ³ /人以下	3.77m ³ /人	○	・計画通りに進んでいる

達成状況の判定 ○:達成できている ×:達成できていない

3.2 環境活動計画の実施状況と評価

目標	活動項目	責任者	取組結果	評価	次年度取組
節水活動	前面道路清掃時に高圧洗浄機を使用する	津田	○	・計画通りに進んでいる	・引き続き実施する

実施状況の判定 ○:実行されている ×:実行されていない

4. グリーン購入の推進

4.1 環境目標の達成状況と評価

目標	目標の目安(指標)	R1年8月～R2年7月	達成状況	評価	
環境目標	エコ商品の購入	6品目以上	13品目	○	・計画通りに進んでいる

達成状況の判定 ○:達成できている ×:達成できていない

4.2 環境活動計画の実施状況と評価

目標	活動項目	責任者	取組結果	評価	次年度取組
エコ商品購入の促進	グリーン商品(事務用品)購入を推進する	津田	○	・計画通りに進んでいる	・引き続き実施する
	エコマーク商品購入を推進する		○		

実施状況の判定 ○:実行されている ×:実行されていない

5. 産業廃棄物の収集運搬に伴う環境負荷の低減

5.1 環境目標の達成状況と評価

目標	目標の目安(指標)	R1年8月～R2年7月	達成状況	評価	
環境目標	環境配慮型車両の購入	1台/以上	1台	○	・計画通りに進んでいる

達成状況の判定 ○:達成できている ×:達成できていない

5.2 環境活動計画の実施状況と評価

目標	活動項目	責任者	取組結果	評価	次年度取組内容
車両購入、選択にあたっての配慮	環境配慮型車両を購入する	山上雅彦	○	・計画通りに進んでいる	・引き続き実施する

実施状況の判定 ○:実行されている ×:実行されていない

6. 安全・環境パトロールの強化

6.1 環境目標の達成状況と評価

目標	目標の目安(指標)	R1年8月～R2年7月	達成状況	評価	
環境目標	環境保全活動の強化	24回以上	24回	○	・計画通りに進んでいる

達成状況の判定 ○:達成できている ×:達成できていない

6.2 環境活動計画の実施状況と評価

目標	活動項目	責任者	取組結果	評価	次年度取組内容
現場での環境保全活動の促進	整理、整頓に努める	山上雅彦	○	・計画通りに進んでいる	・引き続き実施する
	クレーム(粉塵、騒音等)の発生防止を徹底する		○		
	無事故(物損、車両等)を徹底する		○		

実施状況の判定 ○:実行されている ×:実行されていない

7. 地域貢献活動の推進

7.1 環境目標の達成状況と評価

目標	目標の目安(指標)	R1年8月～R2年7月	達成状況	評価	
環境目標	環境保全活動の強化	6回以上	6回	○	・計画通りにすすんでいる

達成状況の判定 ○:達成できている ×:達成できていない

7.2 環境活動計画の実施状況と評価

目標	活動項目	責任者	取組結果	評価	次年度取組内容
環境保全活動の促進	会社前面道路の清掃活動に取り組む	津田	○	・コロナの影響で参加予定していた所属団体の清掃活動が中止となり、回数が少なくなった	・引き続き実施する
	地域、所属団体等の環境活動に積極的に取り組む		○		

実施状況の判定 ○:実行されている ×:実行されていない

これまでの取組風景



【エコカーの導入】



【会社前面道路の清掃活動】



【休み時間の消灯】



【タイヤ空気圧の確認】



【紙類のシュレッター】



【高圧洗浄機での道路清掃】



【安全・環境パトロール】

環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

法令等に定める基準値の遵守に努めてきた結果、
違反行為、関係機関等からの指摘及び訴訟はありませんでした。

NO	法律、条例、協定書	評価
1	資源の有効な利用の促進に関する法律（施行令）	適合
2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（施行令、施行規則）	適合
3-1	産業廃棄物 処分業許可申請書（平成17年3月9日）	適合
3-2	産業廃棄物 処理業の事業範囲変更許可申請書（平成19年9月28日）	適合
3-3	産業廃棄物処理業変更届出書（平成21年4月28日）	適合
4	福岡県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	適合
5	福岡県産業廃棄物の不適正処理の防止に関する条例、条例施行規則	適合
6	廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則	適合
7	廃棄物の処理及び清掃に関する条例	適合
8	熊本県産業廃棄物指導要綱	適合
9	福岡県産業廃棄物処理施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例	適合
10	大気汚染防止法	適合
11	建設リサイクル法	適合
12	労働安全衛生規則	適合
13	消防法	適合
14	騒音規制法（特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準（厚生省、国土交通省告示））	適合
15	振動規制法	適合
16	高圧ガス保安法	適合
17	水質汚濁防止法	適合
18-1	浄化槽法	適合
18-2	浄化槽法施行規則	適合
18-3	福岡県浄化槽法施行細則	適合
19	特定製品に係るフロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律の一部を改正する法律（フロン排出抑制法）	適合
20	石棉障害予防規則	適合
21	家電リサイクル法	適合
22	オフロード法（特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律）	適合
23	「道路交通法」、「道路交通法施行規則」	適合
24	土壌汚染対策法	適合
25	放射線障害防止法	適合

代表者による全体の評価と 見直し・指示

今年度も特に問題なく、環境経営目標を達成することができた。受注工事量等によって環境負荷が大きく左右される中、前年度より受注量は減少したにも関わらず、達成した数値が増加したことに課題が残る。また、年度の後半はコロナ禍による影響は色々あったが、今後はエコアクション21の取り組みを通して、コロナ時代と上手く付き合っていきたいと思う。また、企業として引き続き環境問題への責任を認識し、全社員と共にエコ活動の継続的な推進に努めなければいけない。

代表取締役 山上知子

受託した産業廃棄物の 処理量

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(m3)	
(i) 収集運搬	木くず		3972.61	
	がれき類		3544.42	
	ガラス・陶磁器くず		1540.63	
	金属くず		1710.32	
	廃プラスチック類		1230.34	
	紙くず		88.15	
	繊維くず		198.40	
収集運搬量合計			12284.87	
(ii) 中間処理	木くず	選別	1270.30	
	がれき類	選別	1114.90	
	ガラス・陶磁器くず	選別	822.76	
	金属くず	選別	1279.37	
	廃プラスチック類	選別	703.36	
	紙くず	選別	66.86	
	繊維くず	選別	132.80	
	うち 再資源化等	木くず	選別	1270.30
		がれき類	選別	891.92
		ガラス・陶磁器くず	選別	822.76
		金属くず	選別	1279.37
		廃プラスチック類	選別	703.36
		紙くず	選別	66.86
		繊維くず	選別	132.80
再資源化等量小計			5167.37	
中間処理合計			5390.35	
(iii) 中間処理後の産業 廃棄物	最終処分	がれき類	安定型最終処分(委託)	222.98
	再資源化等	木くず	燃料として再生利用(委託)	1270.30
		がれき類	路盤材として再生利用(委託)	891.92
		ガラス・陶磁器くず	路盤材として再生利用(委託)	822.76
		金属くず	鉄鋼原料として再生利用(委託)	1279.37
		廃プラスチック類	燃料として再生利用(委託)	703.36
		紙くず	再生紙原料として再生利用(委託)	66.86
		繊維くず	燃料として再生利用(委託)	132.80
再資源化等量小計			5167.37	
中間処理後処分量合計			5390.35	

【注】現時点で、処理方法は「選別」のみとなっています。